

灯籠流しと花火大会 夏を締めくくる灯籠と花火



「第66回 灯籠流しと花火大会」が8月23日に開かれ、大小さまざまな灯籠約3千基と約千発の花火が、田村の夜を彩りました。

灯籠は一般の部に24点、学生の部に23点が集まり、審査の結果、一般の部の大会会長賞は(株)ミツバ(写真左)、市長賞は船引ロータリークラブ(写真下左)、市議会議長賞は(株)清水商店(写真下中)、船引町商工会長賞は田村ライオンズクラブ(写真下右)に決まりました。

大勢の人が、趣向を凝らした灯籠や色鮮やかな大輪の花火、立ち並んだ露店を満喫し、夏の最後のイベントに笑顔を見せていました。



北移南移コミュニティプラザで消防訓練

活性化施設 北移南移コミュニティプラザの消防訓練が8月30日に行われ、北移・南移の方々20人が参加しました。

田村消防署の消防士を講師に招き、調理室からの火災を想定した避難訓練と消火訓練、心肺蘇生とAEDの操作方法などを学びました。参加者からは、田畑で人が倒れていた場合の対応や、電話が近くにない場合の対応など、自分たちの生活に置き換えた質問が上がり、地域の災害・救急に対する意識向上が図られました。

地域住民を交えた消防訓練は当施設で初めての試みで、施設の運営委員会の主催で開催されました。



社会教育委員に表彰状

8月27日、郡山ユラックス熱海で平成27年度 福島県社会教育研究集会が開かれ、滝根町の佐藤征昭さんと船引町の渡辺芳江さんが、福島県市町村社会教育委員連絡協議会長より表彰を受けました。おふたりは、社会教育委員として多年にわたり社会教育の推進に貢献されました。



市民ふれあい卓球教室

震災復興支援を卓球で

8月22日、信号器材(株)の卓球部の皆さんが大越体育館で卓球教室を開き、小中学生など約120人が参加しました。

実業団選手のプレイを間近で見た子どもたちは、卓球の技術も磨くことができ、満足そうでした。子どもたちが夢や希望を感じる良い機会になりました。



あぶくま洞大多鬼丸旗争奪児童ソフトボール大会



第30回あぶくま洞大多鬼丸旗争奪児童ソフトボール大会が8月22日・23日の2日間、滝根運動場などで開かれ、市内外の各スポーツ少年団が熱戦を繰り広げました。

結果は次のとおりです。

〈Aブロック「なら組」〉

●優勝…田島スポーツ少年団男子ソフトボール部(南会津町)

〈Bブロック「つつじ組」〉

●優勝…大東ソフトボールスポーツ少年団(須賀川市)

〈Cブロック「うぐいす組」〉

●優勝…中山スポーツ少年団(いわき市)

あぶくま洞“食ッキング”グルメフェスティバル

県内外のご当地グルメを満喫

8月22日・23日、あぶくま洞特設広場で「第3回 あぶくま洞“食ッキング”グルメフェスティバル」が開かれました。会場には富山ラーメンやマツケバブなどボリュームたっぷりのメニューから、クレープやワッフルなど甘いスイーツメニューまで、県内外からご当地グルメ27店舗が集まり、大勢の家族連れでにぎわいました。

22日には、お笑いコンビの「クマムシ」がライブを行い、テレビでもおなじみのフレーズには来場者から大歓声が上がりました(写真左)。23日には、昨年郡山市にオープンしたレストラン「福ケッチャーノ」の中田料理長が、田村市産のピーマン、トマト、インゲンなどを使って、食材本来の味を生かした調理方法を実演しました(写真右)。

